

せんぞく 史跡千足古墳発掘調査現地説明会

岡山市教育委員会

日時：平成26年2月1日（土）13:30～

場所：岡山市北区新庄下（千足古墳）

はじめに

岡山市教育委員会では、史跡千足古墳の保存事業に伴い、千足古墳の正確な形状や規模、2010年度の調査で一部のみ確認されていた埋葬施設の規模を調べるため、平成25年11月より発掘調査を進めてきました。このたび調査がほぼ終了したため、みつかった遺構や遺物を公開することとなりました。今回の発掘調査では、後円部墳頂において、石障を取りあげた石室（第1石室）の隣から、初期横穴式石室と推測される埋葬施設（第2石室）が新たに確認されました。その他、2012年度に引き続き、前方部の東で周溝状遺構を確認したほか、鞍形埴輪の破片が出土しました。

千足古墳について

千足古墳は、造山古墳群と呼ばれる古墳の中の一つです。現地表の観察では墳形は前方後円墳で、後円部は3段築成、前方部は1段築成と推測されます。前方部が後円部に比べて短い「帆立貝形古墳」と呼ばれます。これまでの発掘調査から、墳丘長は約81mで、後円部の直径は約63m、前方部の幅は約26mあり、築造されたのは5世紀前半頃と考えられます。

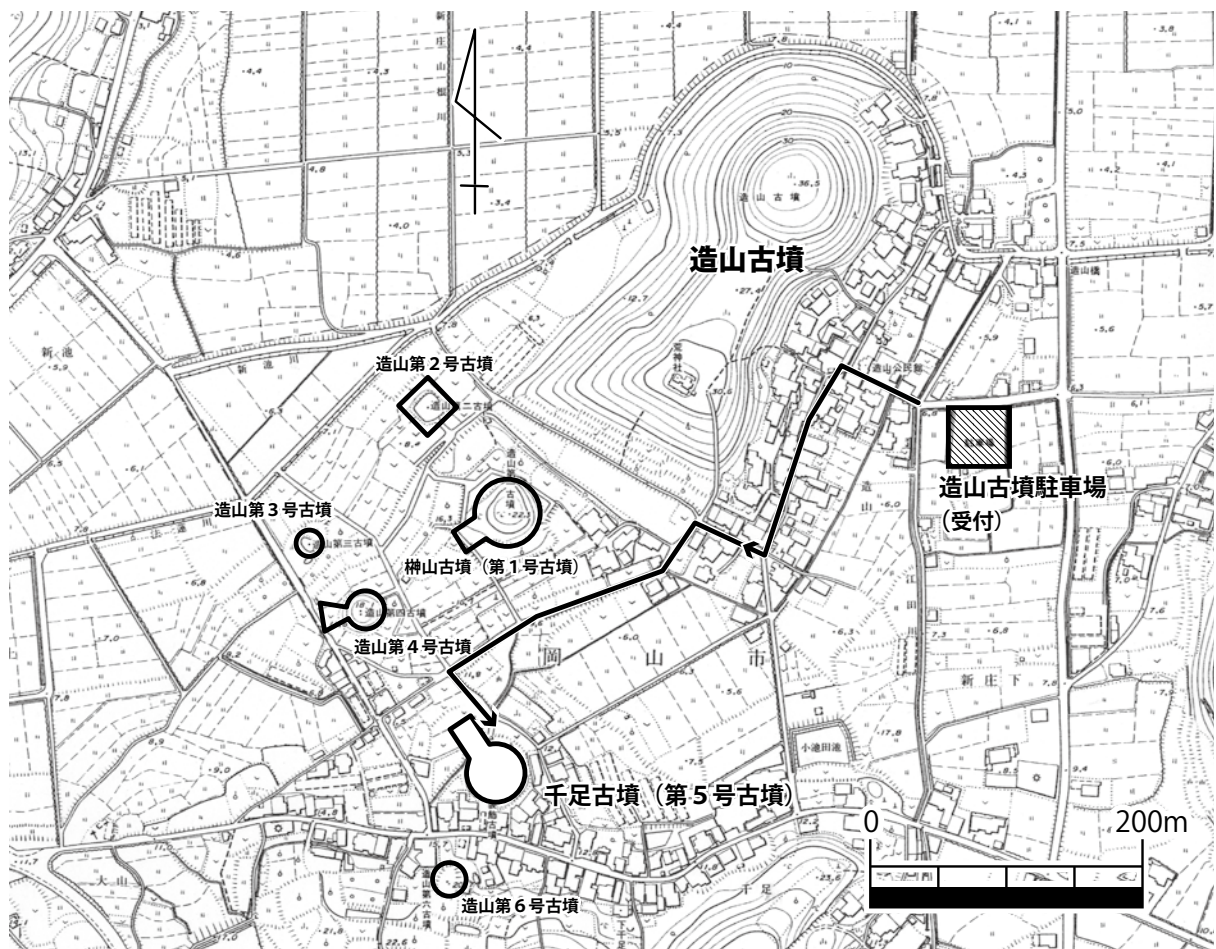


図1 造山古墳群と千足古墳の位置

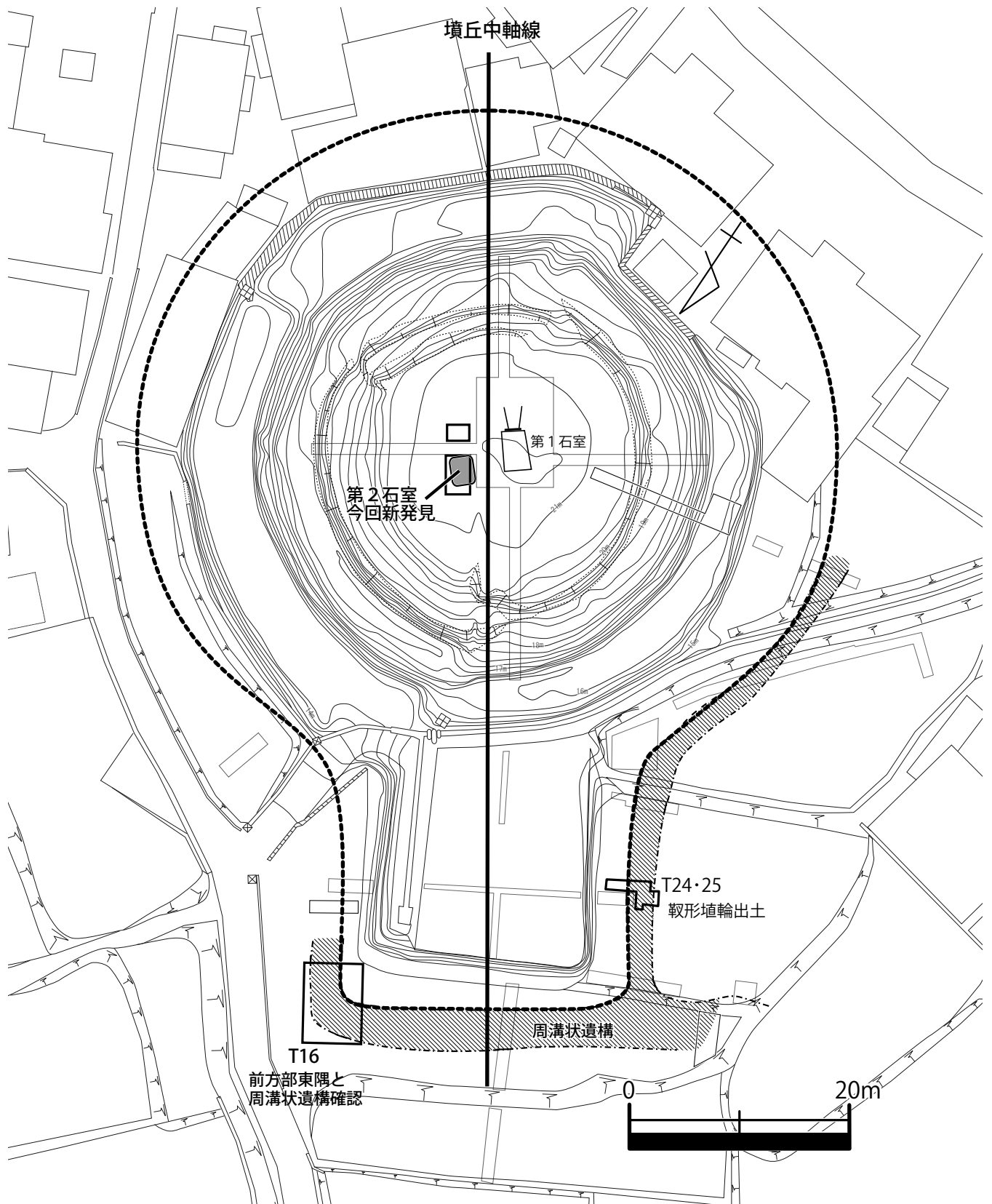


図2 千足古墳全体図

新発見の石室（第2石室）について

これまでの発掘調査の成果から、第1石室の位置が墳丘中軸線上から西にずれていることが分かりました。このことから2010年度の発掘調査で確認されていた、粘土と石で作られた遺構が第1石室と対を成す埋葬施設の可能性が考えられたため、この遺構の範囲の確認を目的にして調査をすすめました。その結果、横穴式石室と推定される新たな埋葬施設が発見されました。石室は上半部がすでに崩壊しており、石室内からは石材や墳丘上に立ち並んでいたであろう埴輪が出土しました。

石室の規模は、長さ約2.6m・幅約2mで、上半部は崩壊していますが、本来は高さ約1.7～2m程ではなかったかと推測されます。平面形は、第1石室と同様に正方形に近い形状です。使用される石材は、地元で採取可能な花崗岩がほとんどで、一部に香川県で産出される安山岩が使用されています。安山岩の表面には赤色顔料が塗られています。壁面をよく観察すると、石の積み上げが壁の途中から天井に向かってドーム状になるよう、前へせり出すように積みまれています。また、石室を上から

見ると石室の隅が緩くカーブを描くように積みまれていることが確認できます。このように、ドーム状の天井部、正方形に近い平面形、という特徴から第2石室は通常の竪穴式石室ではなく、第1石室と同じく九州系の初期横穴式石室の可能性が高いものと考えられます。第2石室の構築に際し、墳丘盛土を掘り込んだあと（掘方^{ほりかた}）が確認されたことから、石室の作られた順番は、第1石室が墳丘築造と並行して構築され、その後、第2石室が作られたようです。築造の時期は、第1石室の構築時期とそれほど離れていない、5世紀前半のうちでより新しい時期と推測されます。

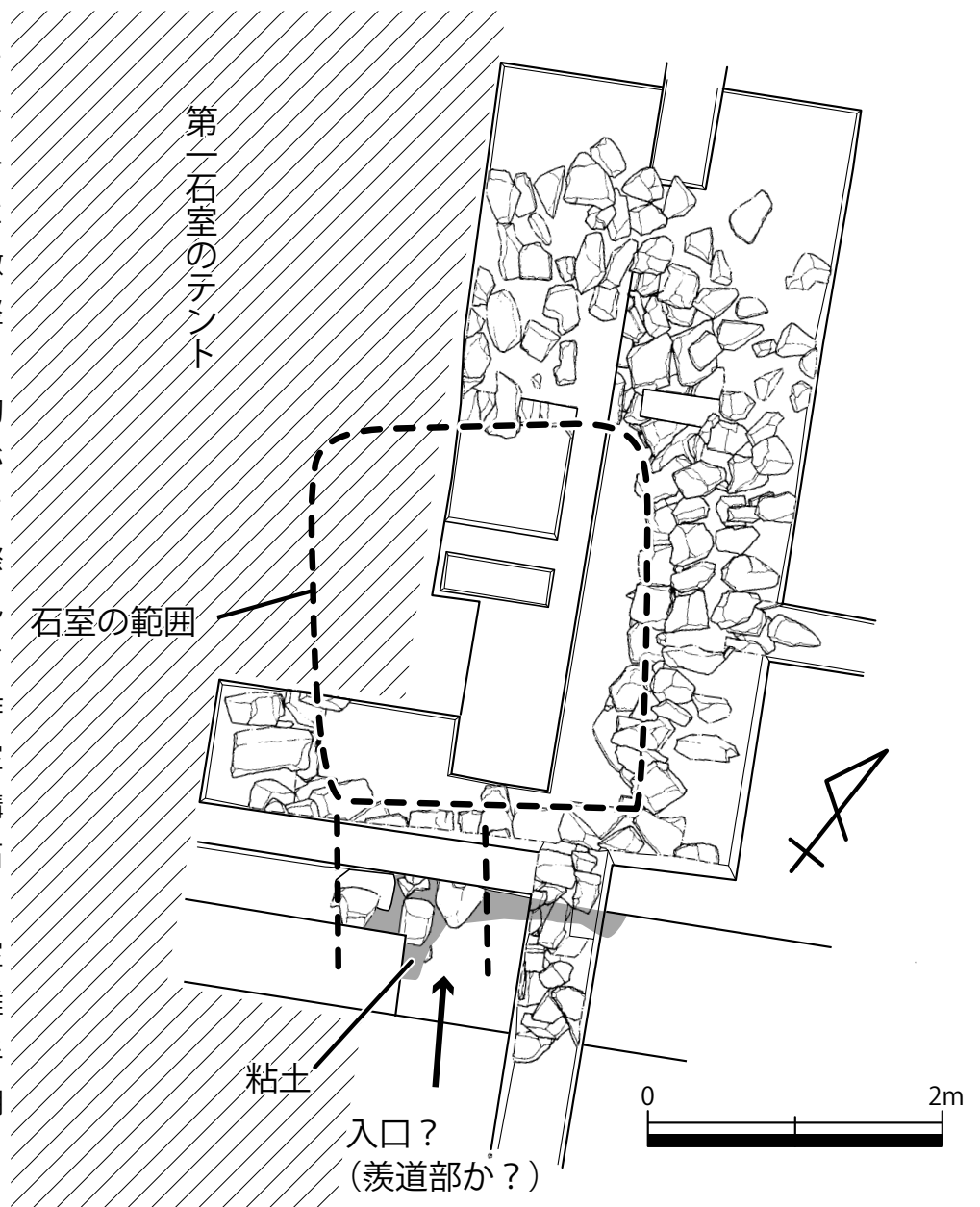


図3 第2石室平面図

今回の調査では、石室の床面まで掘り下げを行いません。そのため副葬品の種類や第1石室と同様に石障があるのかどうかは不明です。また、石室の入口（羨道部）の詳細も明らかではありません。被葬者についても、九州と何らかの関係があった人物と推測することしかできません。不明な点が多い埋葬施設ですが、2基の初期横穴式石室が同一古墳内に、計画的に築造されたことが確認された点は、吉備と九州地方との交流を考える上で重要な発見といえるでしょう。

出土遺物について

今回の調査では、第2石室の埋土および前方部の周溝状遺構から、家形埴輪・^{ゆきがた}靱形埴輪などが出土しています。靱形埴輪は、昨年調査区に隣接した地点（T24・25）から出土しました。飾板と矢筒部と考えられます。いずれも直弧文が描かれており、一部には赤色顔料が塗られていた痕跡を確認できました。今後接合作業を進めていけば、全体像の復元が期待されます。第2石室の埋土からは家形埴輪の屋根の一部や貴人にさしかける傘を模した^{きぬがさがた}蓋形埴輪が出土しています。これまで墳頂部の発掘ではほとんど埴輪が出土しておらず、墳頂部における埴輪を用いた祭祀を知る上で貴重な成果といえます。

おわりに

後円部墳頂部に新たな埋葬施設が確認されたことが大きな成果です。さらに、墳丘中軸線を挟んで並列して築かれていることから、古墳の設計段階から2つの埋葬施設を構築する計画があったことが窺えます。さらに2基とも吉備最古級の横穴式石室であり、当地における横穴式石室の導入過程や地域間の交流を考える上で重要な発見といえるでしょう。



図5 千足古墳出土 靱形埴輪片

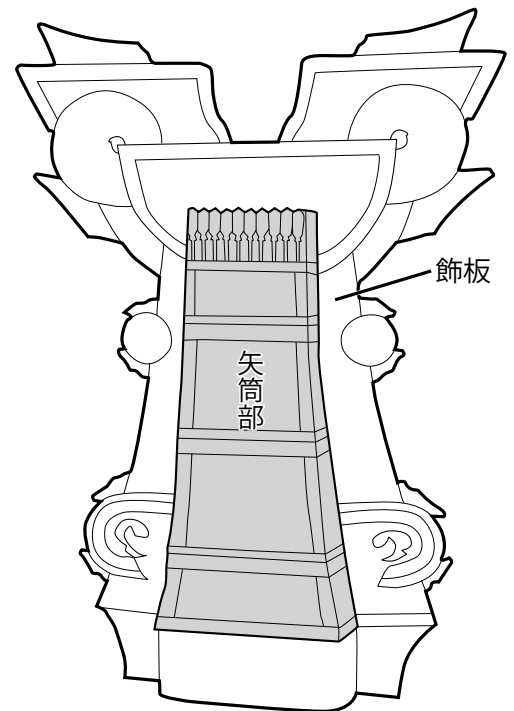


図4 靱形埴輪模式図